

②子どもの生活にどうかかわる？（1）

教科書 p.38~39

Q自分が親なら、スプーンでごはんをたべている1歳の子どもにどう接する？

- ぜんぶ親が食べさせてあげる
- うまく食べられないなら手伝う
- ぜんぶ自分で食べられるまで見守る

memo



学びのねらい

►子どもの成長には、発達段階に応じた親のはたらきかけが重要であることを知ろう

1 親の役割 教 p.38

知・技

（1）親の役割について空欄に入る語句を語群から選んで入れてみよう。

親は、子どもの（ア）に合わせ、保護と社会化的バランスをとりながら、子どもを尊重し、（イ）をもって育てる必要がある。親自身も、子どもと相互にかかわり、学びながら、人間として（ア）していく。子育てをする親の多くが、子育てに（ウ）や、はりあいを感じている。

社会のルールは家庭の（エ）や教育だけでなく、保育所や幼稚園などの（オ）のなかで、役割を担ったり、経験を積んだりすることで身につけていく。

語群

楽しさ 愛情 集団 要求 成長 しつけ

2 基本的生活習慣の発達 教 p.39

知・技

（1）基本的生活習慣の自立の表を完成させよう。

	1歳	2歳	3歳	4歳	5～6歳
食事	（ア）を持って飲む。フォークやスプーンを使って、一人で食べようとする。		こぼさずに一人で食べる。（イ）を使う。	（ウ）なものでも少しずつ食べようとする。	からだと食物の関係がわかり、多くの種類の食べ物を食べようとする。
睡眠			一人で寝起きする。		（エ）する理由がわかり、静かに休む。
排せつ	便器での排せつに少しずつ慣れる。		一人で（オ）に行く。		排せつの後始末をじょうずにする。
着脱衣	簡単な衣服は自分で脱ぎ、手伝ってもらって一人で着る。（カ）を一人で履こうとする。		自分の衣服を着ようとする。（キ）をかける。		自分で衣服を着脱し、必要に応じて（ワ）する。
清潔			自分で鼻をかむ。顔や手を洗う。（ケ）をする。		髪をとかす。清潔にしておくことが病気の予防と関係あることがわかる。

少しずつできることが増えていったんだな～。



年 組 番 名前

検印

3 生活習慣と子どもの生活 教 p.39

知・技

（1）子どもに、いかに生活習慣を身につけさせるかについてまとめよう。

生活習慣を身につけさせるときは、まず親が（ア）として示し、その後、手伝いながら子どもにさせるとよい。子どもの（イ）に応じて、手伝う部分を減らしていき、しだいに子どもが一人ができるように導いていく。

子どもの（イ）を尊重し、できたときは（ウ）、失敗してもあわてず、ゆったりとした気持ちで（エ）をくり返すことで、生活習慣の習得とともに子どもの心が育ち、新しいことに取り組む意欲や粘り強さ、（オ）が育っていく。

memo



保育

Step UP!

親の役割 教 p.38

思・判・表

（1）親の役割である、保護と社会化について説明してみよう。

①保護とは：（ア）

②社会化とは：（イ）

（2）親の次のような行動は、A. 保護、B. 社会化のどちらにあたるだろうか。分類してみよう。

①病気の予防、看護

②社会のルールや規範を身につけさせる

③人とかかわる力を育てる

④事故や危険をさけるために目配りをする

⑤基本的生活習慣の自立を援助する

⑥衣食住の世話をする

A. 保護（

B. 社会化（

（3）親が保護または社会化にかかわる行動をしているところを見て、感じたことを書いてみよう。

②子どもの生活にどうかかわる？（2）

教科書 p.40~41

memo



学びのねらい

▶子どもの自立に親や家族のかかわり方や家庭生活が果たす役割の重要性を知ろう

1 子どもの食事 教 p.40

知・技

(1) 乳児期の食事についてまとめてみよう。

乳児は（ア）を飲んで育つ。（ア）には（イ）、調製粉乳（育児用粉ミルク）、（ウ）などがある。生後5～6か月頃から、（ア）だけでは必要な栄養素が満たせなくなるため、離乳が必要になってくる。

(2) 离乳食について表を完成させよう。

離乳の開始	
食べ方の目安	調理形態
生後5、6か月頃	7、8か月頃
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を見ながら、1日1回1さじずつ始める。 母乳やミルクは（ア）を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日（イ）食で、食事のリズムをつけていく。 いろいろな味や舌ざわりを楽しめるように食品の（ウ）を増やしていく。
なめらかにすりつぶした状態	
→離乳の完了	
食べ方の目安	
9か月～11か月頃	12か月～18か月頃
<ul style="list-style-type: none"> 食事のリズムを大切に、1日（オ）食に進めていく。 家族いっしょに楽しい食卓体験を。（カ）でつぶせる固さ 	<ul style="list-style-type: none"> 1日（キ）の食事のリズムを大切に、生活リズムを整える。 自分で食べる楽しみを（ク）食べから始める。（力）で噛める固さ
（カ）でつぶせる固さ	

(3) 幼児期・児童期の食事で心がけたいことをまとめよう。

幼児期はからだの成長が盛んで、（ア）量も増え、多くの（イ）が必要になる。しかし、（ウ）の容量は小さく、1回に食べられる量は限られるので、1日3回の食事のほかに、間食（エ）で補う。1日の食事の計画に間食を組み込み、与える内容や量を決めるといい。食べ物の好き嫌いが出てくるので、（オ）などを工夫してバランスよく食べられるようにする。

離乳食にもいろいろな種類があるんだね！



年 組 番 名前

検印

2 子どもの健康 教 p.41

知・技

(1) 子どもの健康についてまとめてみよう。

子どもはおとなと比較すると抵抗力が弱く、病気にかかりやすい。また、自分で（ア）症状を訴えることができない。特に乳幼児期は、（イ）しやすく、下痢や熱中症、脱水症状などを起こしやすいため、病気の際は、（ウ）の補給を十分行うとよい。また、乳幼児期は感染症にかかりやすいため、重い症状を引き起こす感染症については、予防接種で予防を行う。近年、子どもの（エ）疾患が増えている。もし（エ）症状が疑われたら、（オ）を特定する検査を行い、早めに治療することが重要である。

(2) 乳幼児のかかりやすい感染症をあげてみよう。

(3) 乳幼児の発育状況の確認や、病気の予防、早期発見のために市区町村が行なっているのは何だろう。

memo



保育

Step UP! 子どもの安全を守る 教 p.41

思・判・表

(1) 乳幼児が転びやすいのはなぜか考えよう。

(2) 乳幼児が誤飲しやすいものは何か、3つあげてみよう。

(3) SIDSについて、発生に関係しているものをひとつあげてみよう。

ふり返ろう

- 親には、子どもを保護し、生活習慣などを身につけさせる（社会化）役割があることを理解できた。
- 子どもの発達上の特性から、健康や安全に注意する必要があることを理解できた。
- 子どもが健康・安全に生活するためにどのような配慮が必要になるかを考察できた。

できなかった よくできた

達成度チェック	1	2	3	4	5
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

私のWell-being ▶ 子どもの離乳食・幼児食をつくって試食してみよう。

)

●次の問い合わせてみよう。

1 子どもはどう生まれ育つ？

①子どもの運動機能の中で、手などの細かい動きに対して大きなからだの動きを何というだろう。

②子どもの発育や発達の時期やあらわれ方には一人ひとり違いがあることを何というだろう。

③信頼感にもとづいた他者との心理的なきずなのこと（アタッチメント）を何というだろう。

④知らない人の前で泣き出したり、いやがったりすることを何というだろう。

⑤6か月頃の乳児が発する、「あうあう」などの声のことを何というだろう。

⑥子どもの豊かな情操や健やかな発達をうながすためにつくれた、文学、美術、音楽、演劇などの文化すべてを何というだろう。

⑦新生児が生まれて最初にあげる泣き声のことを何というだろう。

⑧生まれて2～3日頃まで排出される、黒く粘りのある便のことを何というだろう。

⑨新生児が、ある特定の刺激に対して決まった行動を起こすこと（新生児反射ともいう）を何というだろう。

2 子どもとどうかかわろう？

①子どもの世話をし、その命や生活を守る親の役割のことを何というだろう。

②①に対して、子どもに生活習慣や社会のルールを身につける親の役割のことを何というだろう。

③食事、睡眠、排せつなど、身のまわりのことについての基本的な行動のことを何というだろう。

④乳汁から幼児食へ移行することを何というだろう。

⑤毒性をなくしたり弱めたりした病原体を、事前にからだに注入し、抵抗力をもたせる方法を何というだろう。

⑥外部からの異物に対し、からだが過剰に防御反応を起こし、さまざまな症状がでる疾患のことを何というだろう。

3 これからの子育てとは？

①人口における子どもの割合が低下することを何というだろう。

②2013年に始まった、妊婦の血液を調べて、胎児に先天異常がないか調べる診断を何というだろう。

③家庭内暴力のうち、親などから子どもへの暴力のことを何というだろう。

④2010年に発表された、今後の子どもや子育てに対する施策の方向性のことを何というだろう。

⑤保育所などの施設で子どもを多数集めて行う保育のことを何というだろう。

⑥保育所と幼稚園の機能や特長をあわせもつ施設のことを何というだろう。

⑦保育所の定員を超えてしまい入所できない児童のことを何というだろう。

⑧⑦に対応するため、2015年（平成27年）に始まった少人数の保育を何というだろう。

⑨1947年に制定。児童福祉の基本理念や、それを行うための機関・施設を定めた法律を何というだろう。

⑩子どもを権利行使する主体として認め、権利の実現と確保に必要な事項を規定した条約を何というだろう。



実習の記録 子どもとふれ合ってみよう

年 組 番 名前

検印

記録欄

年 月 日 ()

【実習で訪問する施設の名称・特徴などを記入しよう】

【自分自身の実習のテーマを記入しよう】

【いっしょに遊ぶ子どもたちについて、事前に調べて記入しよう（年齢やできること・遊びの内容など）】

【訪問日のカリキュラムや訪問先施設の職員の方からの指示・注意事項などもあれば確認して記入しよう】

【訪問前に確認しよう】

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 子どもたちに名前を覚えてもらうための名札 | <input type="checkbox"/> 爪の手入れ（子どもたちにけがをさせないよう、短く切ったか） |
| <input type="checkbox"/> いっしょに遊ぶおもちゃや絵本など | <input type="checkbox"/> 訪問時のあいさつ |
| <input type="checkbox"/> 服装・髪型（清潔か、動きやすいか、金具などで危ないものは身につけていないか） | |

【実習について】

◆どのような遊びをしたか

◆子どもたちはどのようなことを喜んだか

◆訪問先の先生の子どもたちに対する接し方を見て気づいたこと

◆実習全体を通しての感想（子どもたちにどのようなイメージをもっていたか、それがふれ合うことによってどう変わったかなど）

memo